

プライヤーについて

・ピンカッター (1)

正式名称はピンアンドリガチャーカッター。
結紮線を切断するためのプライヤーで、アーチワイヤーや太いワイヤーの切断には用いない。
【使用頻度:◎】



・ホーププライヤー (2)

結紮をしたりアーチワイヤーの着脱に用いる。
ワイヤーの把持が容易なように、プライヤー先端の両面を平らに仕上げている。【使用頻度:○】



・ユーティリティープライヤー (3)

アーチワイヤー着脱のためのプライヤー。両側は先端にいくに従って細くならだらかに弯曲している。
【使用頻度:◎】



・ピンセット (4)

ブラケットやチューブ等のボンディング時に使用。



・探針 (5)

モジュール結紮の解除(解紮)に用いる。



・エバンス (6)

タイポドント咬合器のワックスのトリミングに使用。



・ライトワイヤープライヤー (7)

線屈曲のためのプライヤー(ワイヤーベンディングプライヤー)。
細いアーチワイヤー(直径0.5mmまで)を屈曲するためのプライヤーでカッター機能付もある。
【使用頻度:◎】



・ツイードプライヤー (8)

両側の先端の内面が平坦になっている。
マルチブラケット装置のアーチワイヤー(角線)の屈曲に使用する。2本用いればトルクを付与できる。



・ディスタルエンドカッター (9)

マルチブラケット装置のアーチワイヤーの遠心の末端を口腔内で切断するためのプライヤー。切断後のワイヤー断端は保持され、粘膜の損傷や誤飲を防ぐ。【使用頻度：◎】



・ブラケット

ポジショニングゲージ (11)

ブラケットやチューブを歯面上で正確な場所に位置づけるための器具。【使用頻度：○】



・フッククリンピングパワー プライヤー (13)

クリンパブルフックを角線のアーチワイヤーに固定するプライヤー。口腔内でも外でも使用できる。【使用頻度：○】



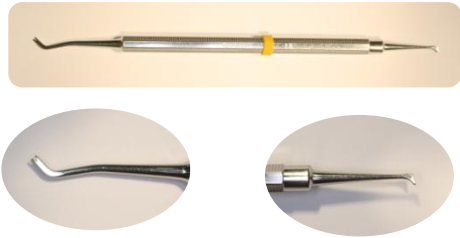
・バンドプッシャー (15)

バンド装着のためバンドを歯に適合させ、圧入するのに用いる。先端は、口腔内で使用しやすいように屈曲され、先端の表面は滑り止めのために溝が刻まれている。【バンド実習時、使用頻度：◎】



・リガチャーディレクター (10)

結紮線断端をワイヤーの下まで屈曲させたりモジュール・パワーチェーンや結紮線をフック等まで誘導する際に使用。反対側の先端は小さなバンドプッシャーになっている。



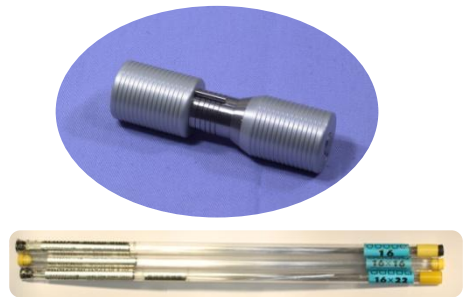
・持針器 (12)

結紮線やモジュールでアーチワイヤーとブラケットを結紮するとき用いる。【使用頻度：◎】



・アーチフォーマー(ターレット) (14)

角ワイヤーを歯列弓の形に屈曲するための器具。角線をそのまま曲げるとねじれてしまうため、角線を中央の溝(スロット)にはめて、屈曲する。ワイヤーのサイズに合わせ6～8本のスロットがある。



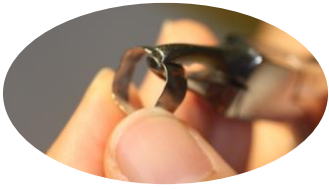
・バンドリムーバー (16)

バンドを歯から除去するためのプライヤー。【バンド実習時、使用頻度：◎】



・バンドコンタリングプライヤー (17)

試適後のバンドを本来の豊隆に戻すためのプライヤー。



・ワイヤーニッパー (19)

太いワイヤーのカット時に使用。



・オープニングクローズインstrument (デーモン3Mx用) (21)

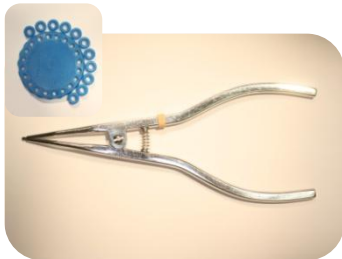
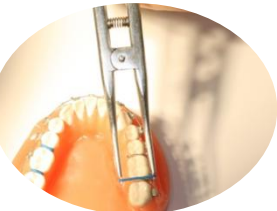
デーモンbracketの開閉に使用。

【デーモン3Mxブラケット使用時、使用頻度：◎】



・エラスティックセパレーティング プライヤー (23)

バンドの前準備として歯間離開を行う際に用いるプライヤー。



・レジンリムーバー (25)

バンドやボンディング材の撤去のためのプライヤー。
ブラケットを除去した際に残ったボンディング材を撤去するのに用いる。

・ヤングのプライヤー (18)

線屈曲のためのプライヤー(ワイヤーベンディングプライヤー)。片側の先端は内面が平坦で、対側は3段階の円柱状になっており太いワイヤー(直径0.7～1.0 mm前後、クラスプや唇側線)の屈曲に使用。



・オープニングクローズインstrument (デーモンQ用) (20)

デーモンbracketの開閉に使用。

【デーモンQブラケット使用時、使用頻度：◎】



・ブラケットリムーバー (22)

接着したブラケットを歯面から除去するのに用いるプライヤー。刃先がブラケットベース下部と接着歯面の間に入り込むようになっている。



・バンドシーター (24)

バンドの圧入に用いる。棒状のプラスチックに金属の突起がつけられている。手指または患者の咬合圧によってバンドを圧入する。

